



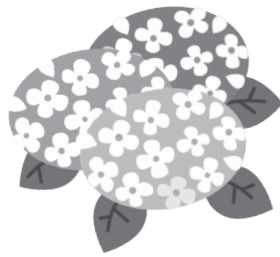
2019年 下期号
発行：筍山会
(野田たけひこ後援会)
船橋市薬円台6-6-8
047-464-9333

県議会議員 2期目スタート 決意を新たに

平成最後の全国統一地方議員選挙・千葉県議会選挙におきまして、皆様から多大なご支持・ご支援を賜り、お蔭様で二期目の当選を果たすことができました。これも一重に皆様のご尽力の賜と心より感謝申し上げます。

再び活動の場を与えて頂きました以上、皆様のご期待にお応えすべく精一杯頑張る所存です。今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、6月5日から令和元年第2回定例県議会が始まり、6月13日に一般質問で本会議に登壇する機会を頂きましたので、そのご報告をさせていただきます。尚、質問項目が多いため、一部を抜粋して掲載させて頂きます。



安心・安全な
社会をつくる

◇児童相談所設置に係る支援について

船橋市の家庭児童相談室への相談件数は、平成25年度の878件から急増し、平成29年度は1,165件で、その相談の約半分の584件が虐待についての相談です。また、船橋市を管轄する、県の市川児童相談所が扱う相談のうち約4割が船橋市からの相談です。そのようなことから、今年の2月13日に市長が定例記者会見で、2025年に船橋市独自に児童相談所を開設すると表明しました。

船橋市が児童相談所を設置すると、市川児童相談所における船橋分の財政的負担及び人的負担は軽減されますが、その負担は船橋市に移るものになります。そこで、児童相談所に係る財政支援と人的支援を求める旨の質問をしました。

これに対して「国の補助が十分でないことから、

◇避難行動要支援者の輸送について

高齢者や障害者等、災害の際、自力で避難することが難しい人たちの避難行動要支援者と言います。東日本大震災で亡くなった人の6割以上が60歳以上の高齢者で、また障害のある人の死亡率は住民全体の2倍でした。

高齢化の進展により、避難行動要支援者の数は飛躍的に増大すると予想されますが、残念ながら災害時に避難行動要支援者を避難所に輸送する体制が備わっていません。

そのような中、船橋市に本部を置き、日頃から高齢者や障害者等の輸送に携わっている福祉タクシー事業者団体が、災害時において避難行動要支援者の緊急輸送に協力すると表明していました。が、県は福祉タクシー事業者団体と災害協定を結ぶこと

◇住宅の耐震化率の向上について

昭和55年以前に建築された木造住宅の世帯主の8割近くが60歳以上で、5割が70歳以上になっていると推察され、高齢者が「自分が生きていく間に地震が起きるかどうかわからない」、「高いお金を支払う意味がない」と考えるのも無理はないと思われることから、住宅の耐震化問題は高齢化問題と換言できます。

県は来年度までに住宅の耐震化率を95%にするという目標を掲げていますが、直近の平成25年は約84%で、目標達成は極めて難しい状況にあります。

そのことから、住宅の耐震化に係る助成制度の利用促進とともに、耐震化されていない住宅の世帯主に対し、市町村の担当

職員と連携して、戸別訪問する等の直接の働きかけが必要だという旨の質問をしました。

これに対して「戸別訪問や耐震診断の結果、耐震改修が必要となった住宅への改修要請など、積極的な取り組みを行う市町村に対し、従前より補助額を増額する「総合的支援メニュー」を創設し、この制度の活用を促進する」という答弁がありました。

千葉県北西部直下地震が起きた場合、船橋市は約1万5,200棟の建物が全壊すると言われています。また住宅の倒壊は、緊急車両等の通行や避難活動に支障をきたし、被害を拡大させる恐れがあるため、これから耐震化率向上に努めます。

◇感震ブレーカーの設置促進について

大規模な地震などに伴う停電が復旧し、通電が再開される際に発生する火災のことを通電火災と言います。地震後の火災の過半数が通電火災によるもので、これを防ぐのに有効だとされているのが、揺れを感じると自動的にブレーカーを落とす感震ブレーカーです。

船橋市を含め、県内市町村の感震ブレーカーの普及に向けた取り組みも進んでおらず、県の補助金を活用し、感震ブレーカーを設置できる制度があるのは、県内54市町村の中で、いすみ市、1市のみです。

いすみ市には、今年度末までに住宅密集地域内にある住宅の80%に感震ブレーカーを無償配布し、これに係る予算の半分を県の補助金でまかなうという計画があります。このような取り組みを県内市町村に周知し、感震ブレーカーの設置促進を図るべき旨の質問をしました。



令和元年6月13日一般質問

県政改革

これに対して「このようない先行事例を県内市町村に広く周知し、感震ブレーカーの普及に向けた市町村の取組を支援する」との知事答弁がありました。

千葉県北西部直下地震が起きた場合、船橋市の火災による建物焼失は約9,400棟だとの予測があります。感震ブレーカーの設置促進に向け、船橋市にも県の補助金を受けられる制度をつくりたいと考えています。

(裏面へ続く)

◇交通安全対策について

平成31年4月末現在の都道府県別交通事故発生状況をみると、千葉県の交通事故による死者数は54人で、これは全国一の多さです。しかしながら、信号機設置要望の累計が約1,000件というのが、ここ5年間続いているのに対し、実際の設置件数は県全体で平成26年が80基、平成27、28年がそれぞれ60基、29年が29基、昨年が51基、そして今年は30基の計画であり、残念ながら地域住民の要望に応えられていません。

信号機や横断歩道等の整備に係る予算は昨年度より増額されていますが、交通事故による死者数が全国一であるというのは非常事態だと言えます。そのようなことから、信号機や横断歩道等の整備に係る補正予算を組むべき旨の質問をしました。

これに対して「当初予算を着実に執行し、効果的な整備に努めることが必要と考える」という答弁がありました。

北千葉道路や圏央道の完成を目指し、県は工事を急ピッチに進めています。それは県の発展のために必要ですが、非常事態ですから、私は生活道路の安全確保に力を注いでいきます。

◇二級河川飯山満川および海老川調節池の早期整備について

海老川水系の飯山満川等では、台風等の大雨により、た

びたび浸水被害が発生しており、地域住民から抜本的な治水対策を早急に実施するよう求められています。船橋市は実施可能な取り組みについて、積極的に進めています。河川の下流にある県管理の飯山満川の整備が進まないことは、抜本的な治水対策に結び付かない状況にあります。

また船橋市は海老川調節池上部利用との一体的なまちづくりとして、多目的広場や運動広場の設置、海老川ジョギングロードとの連続性を確保することを目指しており、そのため県に海老川調節池の早期整備を要望しています。

そのようなことから、飯山満川の整備状況と海老川調節池の進捗状況について、早急に整備すべき旨の質問をしました。

これに対して「海老川合流点上流から2,800m区間で、流域の土地区画整理事業と連携し、河川改修を実施。今年度は、2号調節池の越流堤に着手予定。海老川上流部に調節池の整備を進めており、約95%の用地を取得済み。調節池の掘削による周辺の地盤変動を防止する対策を検討中であり、その結果を踏まえ、整備予定地内の一部において、試験掘削を行う予定」という答弁がありました。

昨年より用地取得が1%進み、これにより本格整備に向けた試験掘削ができるようになりました。住民の合意を得るため、用地買収には時間がかかります。これから治水対策に力を注いでいきます。

野田たけひこ

命や生活を守る

筍山会会長 橋本英世

初夏の候、後援会の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より筍山会に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

四月に挙行されました千葉県議会議員選挙において、皆さまのご支援のもとで二期目の当選をさせて頂きました。また、同じく四月の船橋市議会議員選挙におきましても『千葉民主連合（野田佳彦会長）』の剛彦君の同志たちも、無事に当選することができました。同志の市議に代わり、心より感謝申し上げます。

剛彦君は一期目の県議会において、ヘリサイン整備事業・土砂災害警戒対策事業・骨髄移植におけるドナー支援事業・福祉タクシー導入促進事業・千葉県行政書士会の被災者支援に関する協

定の締結など命や生活に関する問題を最優先に多くの実績を残しました。また、今年四月一日にオープンした「消防訓練センター」は、剛彦君が市議会議員の頃、高層化や深層化する近年の都市構造に合わせた訓練施設の必要性を訴え、消防委員会でも決議し完成した施設です。

二期目も引き続き、「命や生活を守る」政策を一丁目一番地としている剛彦君を、私達も力強く応援していく所存です。諸課題に果敢に取り組み、政策を着実に前進させ実現しております野田剛彦県議に、今後とも変わらぬお力添えを宜しくお願い申し上げます。

みなさまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

ヘルプマークに係る予算獲得！

私は3年前から機会をとらえては、県の担当者にヘルプマークの導入を働きかけてきましたが、ようやく本年度の県予算に計上されました。

ヘルプマークとは、障害等により支援や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の人に支援等を必要としていることを知らせるための目印です。

啓発チラシ4万枚

（予算額176,000円）

啓発ポスター3千枚

（予算額150,000円）

公共交通機関ステッカー2千枚

（予算額100,000円）

ストラップ型ヘルプマーク2万枚

（予算額3,000,000円）

しゅんざんかい 筍山会からのお知らせ

◇新規会員登録

筍山会では、新規会員を随時募集しています。ご友人、ご親戚の方などをご紹介ください。

会員は、半年ごとに一口1000円です。何口でも納入して頂くことができます。半年ごとに郵送する会報「筍（たけのこ）」に振込用紙を同封します。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

なお、政治資金規正法により、**企業献金は受け付けられません**ので、お振込みは個人名でお願い致します。

◇ボランティア募集

野田たけひこ本人が、主要駅近辺で街頭活動をしていきます。野田たけひこと一緒にビラ配りをしていただけボランティアの方々を大募集中です。お気軽にご連絡下さい。

◇ホームページ

筍山会のホームページでは、野田たけひこの県政活動報告や、「県政改革」を随時更新するほか、様々な情報を発信しています。左記アドレスまたはQRコードより是非ご覧下さい。



<http://www.shunzankai.com>

メール nodatake@shunzankai.com

◇ご意見

野田たけひこへのご意見、県政への要望など、皆様の声をお聞かせ下さい。左記住所へ郵便、または電子メールで送り下さい。

〒274-0077
船橋市薬円台

6・6・8
筍山会事務所
047・464・9333